

広島県社会人バスケットボールリーグ大会規程

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による変更がある場合は、そちらの効力を上位とする

1. 参加資格

- ① (公財) 日本バスケットボール協会 (JBA) に登録されたチーム、競技者
- ② (一財) 広島県バスケットボール協会に登録されたチーム、競技者
- ③ 広島県社会人バスケットボール連盟に登録されたチーム、競技者
- ④ オープン、オーバーエイジ、フレンドリーのチーム区分に登録されたチーム
- ⑤ JBA登録同一チームでの複数参加について
 - 1) 配下選手の多いチームは複数チームとして参加することを認める
 - 2) 年度内JBA登録同一チームであっても、県リーグ登録チーム間の移籍は認めない
(※同一チームでの複数チーム参加の場合にのみ適用)

2. 追加登録

選手：随時登録可能。但し、JBAへ競技者追加登録料の納付完了時点で登録完了となる。
チーム：当該年度のリーグ申込締切後は、原則認めないが、理事会で承認された場合は認める。

3. 選手移籍

(一社) 日本社会人バスケットボール連盟 (以下JSB) 規約を適用
※同一チームでの複数チーム参加の場合は1. で定めた通り

4. ゲームエントリー

ゲーム毎にコーチ、ファーストアシスタントコーチを含め、スタッフ6名以内、選手16名以内の合計22名以内で行う。

5. JBA公認コーチ

指揮を執るコーチはE-1級またはE級以上のJBA公認コーチ資格を有すること。

試合時、コーチ不在の場合は所定の理由書を提出すること。

6. 外国籍競技者ルール 制限なし

7. 競技規則

■現行の日本バスケットボール協会競技規則を適用する。

■ただし、大会を円滑に運営するため、次の事項は変更する。

- ゲーム開始時刻5分経過しても、チームがコートにいない、もしくはプレーをする準備の整ったプレーヤーが5名揃わなかった場合、ゲームは没収とする。
- ゲーム時間は、8分×4P⇒8-2-8-⑧-8-2-8とする。
- 第4ピリオド終了時同点の場合、リーグ方式は延長を行わない。
順位決定戦、入替戦をトーナメント方式で行う場合、1回3分の延長を決着がつくまで繰り返す。
- 前ゲームが遅れ、次ゲームの開始時間が定刻を過ぎている場合は、ゲーム間のインターバルは8分間とする。

8. 競技方法

■組合せ表とおりとする。

■勝ち点によるブロック順位決定について

リーグ方式での各ブロックの順位は勝ち点により決定。但し、棄権実績のあるチームは最下位とし、また昇格は無い。

勝者：3点 引き分け：2点 敗者（ゲーム途中終了を含む）：1点 棄権等：0点 没収：-3点
2回目の没収が発生したチームは、それ以降の大会出場はできないし、それまでのゲーム結果も無効

とする。

勝点と同じチームが複数生じた場合は、没収があれば没収チームを下位とする。

勝点と同じチームが2チーム生じた場合は当該チーム同士の勝敗を優先とする。

勝点と同じチームが3チーム以上生じた場合

○当該チーム間の勝ち点が比較できる場合

①当該チーム間の勝点が大なるチームを上位とする。

②当該チーム間の勝点と同じ場合、

ア) 当該チーム間の得失点差(得点-失点)の大なるチームを上位とする。

イ) 当該チーム間の得点数の大なるチームを上位とする。

ウ) 当該チームのグループ内の得失点差(得点-失点)の大なるチームを上位とする。

エ) 当該チームのグループ内の得点数の大なるチームを上位とする。

③上記①、②でも順位が決定しない場合、抽選を行う。

○当該チーム間の勝ち点が比較できない場合

①当該チームのグループ内の全ゲームの得失点差(得点-失点)の大なるチームを上位とする。

②当該チームのグループ内の得点数の大なるチームを上位とする。

③上記①、②でも順位が決定しない場合、抽選を行う。

■昇格・降格については上部の下位2チームを自動降格とし、下部上位2チームを自動昇格とする。

9. ボール 対戦チーム間で持ち寄り。但し、両チームの話し合いでどちらかのボールに決めても良い。

10. メンバー表

第1ゲームのチームはゲーム開始の15分前、その他のチームは前ゲームの第2ピリオド終了までに大会本部が準備するスコアシートにフルネームで記入すること。

11. ユニフォーム・ベンチについて

■日程表の左側チームを白色とし、テーブルに向かって右側ベンチ

12. 表彰 行わない

13. 帯同審判・オフィシャル

■指定された通り行うこと。

■帯同審判・TO割当は、変更の可能性を考慮し、必ず試合当日本部で再確認すること。

■帯同審判、TOは、原則ゲーム開始10分前には準備をし、ゲーム開始に備えること。

■帯同審判員は、割当変更でゲームの審判を担当しない場合でも、そのゲームを研修の場とするため、スコアラーズテーブル付近に集合し、派遣審判員の指示を受け研修をすること。

■帯同審判員制度の主旨を理解し、県リーグに参加できる条件のひとつであることを認識し、チームの責任として帯同審判員のレベルアップに取り組むこと。

■帯同審判員を準備できない場合、他チームに協力を要請するなど責任を持って対応し、割当られたゲームが、審判不在とならぬようにする。やむを得ず、帯同審判が準備できない場合、

ゲーム日の前々週の金曜日19:00までに事務局に電話およびメールの両方で連絡をすること。

その場合、次のとおりペナルティーを課すこととする。(1ゲームにつき)

1) 前々週の金曜日19:00までに連絡あり → ￥15,000

2) 1)を過ぎて連絡 → ￥20,000

3) 連絡なしおよび当日申出 → ￥30,000

例) ゲームが5月26日(日)の場合、前々週の金曜日とは、5月17日(金)を指す。

7月15日(月祝)の場合、7月5日(金)を指す。

■日程表と変更が生じた場合、各開催日1週間前~数日前に(一財)広島県バスケットボール協会の

HPへ掲載する。

1 4. コート担当

■コート担当（チームから最低2名が必須）は、各チーム最低1回ずつ担当。

■会場準備時間までに集合し、片づけ終了まで。

■コート担当者の役割

- ・午前中担当は会場設営。午後担当は、撤収作業の手伝い
- ・身につけるものなどの確認
- ・担当の時間帯に行われる試合のスコアシートの管理
- ・タイマー管理（インターバル、ハーフタイム、試合終了後から次試合までの計測スタート管理）
- ・大会運営記録の記入
- ・オフィシャルの補助
- ・駐車場の管理

■その他、不明なことは当番役員の指示に従うこと

1 5. 年間スケジュール

■チーム登録を受け、競技委員会で決定する。

1 6. カテゴリー編成

■前年度実績を基本とする。

■新規チームは最下部からの参入とする。ただし、成績を考慮し上位リーグへ編入の場合もある。
（登録初年度のみの特例とする）

■前年度地域リーグ登録チームについては、1部リーグ1位へ参入とする。

■次年度以降については、入替戦を実施し、カテゴリー編成を決定する場合がある。

■次年度登録を見送ったチームがある場合は、下部カテゴリー上位からの自動昇格とする。

■次年度登録を見送ったチームが1年間休部後、その翌年復活した場合は、ひとつ下の部の1位からスタートとする。2年以上の空白がある場合は、新規参入チームと同等の扱いとする。

1 7. 注意事項

■棄権する場合、できるだけ早急に事務局に電話およびメールの両方で連絡をすること。

- ・棄権する場合でも、指定された帯同審判、TO、コート担当業務は行うこと。
- ・連絡なく棄権した場合は、次年度の登録を認めない場合がある。
- ・棄権のペナルティーを課すこととする。（1ゲームにつき）

1) 前々週の金曜日19:00までに連絡あり → ￥5,000

2) 1)を過ぎての連絡、連絡なし、当日申出 → ￥15,000

■ベンチにはスタッフ6名、選手16名のみ入ることができ、それ以外はフロア内の観戦はできない。

1 8. その他

■結果は（一財）広島県バスケットボール協会のHPに掲載する。

■次年度地域リーグ参入希望チームは8月31日までに申請書をJSBへ提出する。

1 9. 附 則

1. 上記内容で対応出来ない事態が発生した場合は、連盟で協議し対応することとする。

2. 2021年4月1日施行